

# 初嶋大神宮だより (第16号) 初嶋大神宮

令和6年8月吉日

尼崎市築地2丁目6番17号

## 令和6年度の秋季例大祭について！！

酷暑の夏になり体調管理が難しい時期ですが、氏子崇敬者の皆様におかれましては、健康に留意して過ごされますようお願いいたします。

令和6年度の秋季例大祭の予定を、下記の通りご連絡させていただきます。

### 秋季例大祭の行事予定

- 9月14日(土) 夕方よりだんじりのお披露目曳行
- 9月15日(日) 宵宮
  - 9時頃より お祓いのためのだんじりの宮入り
  - 13時より 子供みこし巡行(小嶋・別所・東町・風呂辻・築地の一部)
  - 15時頃より 富くじ開始(境内にて) 15・16両日
  - 夕方より 夜店が出ます(神社周辺地域) 15・16両日
  - 18時頃 神社前(予定)よりだんじりパレード
- 9月16日(祝日) 本宮
  - 例大祭の神事 午前11時より斎行いたします。
  - 神剣のご披露 9時半より10時半まで拝殿にて行います。
  - 13時より こども神輿の巡行(築地地区)
  - 14時頃より 神楽舞開始(神楽券を持参してご参拝ください。21時迄)
  - 17時半頃より 松島橋公園で、だんじりの山合わせ
- 子供神輿の引き手を募集します。

8月18日(日)より9月8日(日)まで社務所にて受付をいたします。

- 皆様のご家庭に、神社役員が祭礼寄付のお願いにお伺いします。

8月24日(土)と25日(日)に、各地区を廻らせていただきます。

ご寄付金額は随意で、ご寄附いただいた全ご家庭にお神楽券をお渡しいたします。

また3000円以上で、後日 撤饌(神様からのおさがり)をお渡しいたします。

- 祭礼提灯を募集しています。

1灯6000円で祭礼と正月に点灯いたします。祭礼に間に合わせますので8月31日までにお申し込みください

- 神社婦人部きくの会による「手作り雑貨市」の開催

15・16日両日、境内東側にて14時～18時の予定で行います。

休憩所(ドリンクコーナー)も設けておりますので、多数のご参加をお待ちしております。



## 初嶋大神宮のトイビア(その16)

### 「築地周辺の町々（東町・小嶋）」

尼崎の城下町は城の東西に分かれており、東は東大手橋から市庭・別所・風呂辻・辰巳と町が続いていました。この町の呼び方は現在でも町会などで残されています。明治以降はこの4町を合わせて東町と呼ぶようになりました。

城内のところでも述べましたが、現在の左門殿橋から貴布祢神社に至る通りは大道筋といわれ、戦前まで阪神間最大の繁華街として存在しており、東町にも各商店のほかにも尼崎名産の醤油醸造業や、清水座という小さな芝居小屋や三日月旅館という旅籠もありました。

中でも呉服屋は日紡（大日本紡績、現在のユニチカ）の工場が近くにあったため、女工さん（当時の呼び名）たちが競って着物を新調したので、大いに賑わったと伝えられています。当時の日紡の工場跡地は現在、小田南公園になっており、阪神タイガースのファームの球場や練習場及び宿舎として整備されつつあります。また日紡の本社も現在東本町1丁目にある、ユニチカ記念館にありました。

大物川近くの大道筋から北に上がる横町には、商家の旦那衆の社交場である立花楼という料亭があり、夕方には芸者衆出入りし大変繁盛していました。また南北に走る横丁には、車屋・俵屋・薬屋・氷屋・駄菓子屋など様々な店が軒を連ねていました。

小嶋町は現在の東町4丁目の南部で住宅街になっていますが、築地と同時期に埋め立てられた街で、江戸時代には中国街道の街道筋として、また大阪から辰巳の渡しを使って西国に向かう人たちが交わる場所として、栄えた地域だったと考えられます。

明治37年(1904年)には、ミツカン酢が東町4丁目に工場を開設し、関西の拠点工場として生産を行っていました。昭和30年(1955年)にはミツカン酢全体で10万石のうち3万石を尼崎で生産し活気あふれる工場でしたが、地盤沈下や周囲の環境悪化のため昭和39年(1964年)に枚方の大阪工場に移転しました。

現在東本町4丁目に鎮座されている松島神社は、祭神は倉稲魂命(うがのみたまのみこと)で安政年間(1854年～60年)の創建になり、当時は御茶屋橋南東のたもとに鎮座され稲荷神社と呼ばれていましたが、尼崎藩の水師達の航海の安全祈願するため住吉大神を勧請し、松島神社と呼ばれるようになりました。

明治の初期に御茶屋橋たもとから現在の場所に移られて今に至っています。。

出典：平成6年本庁地域写真集刊行実行委員会発行

【ふるさと「尼崎」のあゆみ】—写真が語るあまがさき—